④ 項が2つしかなく、差の式で、どちらの項も何かの2乗になっている。

↓

「2乗の差は和と差の積」 合い言葉

例 $x^2 - 16$

$= (x+4)(x-4)$

以上、④パターンです。

因数分解の手順（大切）

① 共通因数でくくれないか、まずチェック！

↓

無理なら、乗法公式の逆（②〜④）のパターンでいきます。

② 2つしか項がないときは、④の「2乗の差は和と差の積」のパターンだし。 $(\quad + \quad)(\quad - \quad)$

③ 前の項と後ろの項が2乗になっているときは $(\qquad)^2$ にほりこむ③のパターンだし。

④ どれもあてはまらなかったり、③のパターンのまん中チェックで正解にならなかったときは、②のたしてなんぼ、かけてなんぼのパターンで解くという流れです。